



奈良県感染症情報

令和2年 第8週(2月17日～2月23日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	8.33	(8.64)	↘	↓	→	↓
2	感染性胃腸炎	5.12	(4.29)	→	→	→	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.62	(2.12)	→	→	↘	↑
4	RSウイルス感染症	0.53	(0.38)	↗	↑	↘	↓
5	伝染性紅斑	0.50	(0.24)	↘	↘	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの患者報告数は県内全体で徐々に減少していますが、中和保健所管内では定点あたり報告数が14.57と注意報レベルとなっています。また、定点あたり報告数が「1」を下回るまでは手洗いの励行や咳エチケットを心がけ、感染予防に努めてください。

感染性胃腸炎の報告数は、第7週よりも増加しています。例年、春にはロタウイルス胃腸炎が流行します。ロタウイルスは感染力が非常に強く、感染者の便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれます。トイレの後や食事の前後などこまめな手洗いを心がけ、おむつの交換後は必ず流水と石けんによる手洗いを行いましょう。また、消毒薬は次亜塩素酸ナトリウム(家庭用塩素系漂白剤)を用いましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

インフルエンザは週に一桁台の数が続き、殆どが迅速検査でB型になり、3月には無くなりそうです。嘔吐、発熱、腹痛と下痢の感染性胃腸炎は、例年の様にインフルエンザの減少に反比例し増える事は今のところみられません。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザが続いて見られる。ほとんどがB型、A型は少ない。
感染性腸炎も持続。RSは減少した。年長児でマイコプラズマ様の例がある。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

A型インフルエンザは減少。B型インフルエンザの流行も落ち着いてきた。
ノロウイルス様の胃腸炎も減少してきたが、軽症下痢の腸炎も多い。
ヒトメタニューモウイルス感染症が増加してきている。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 8 週 2 月 17 日 ~ 23 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	458 (8.33)	74 (5.29)	63 (4.50)	156 (14.18)	150 (15.00)	4 (2.00)	11 (2.75)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	18 (0.53)	6 (0.67)	6 (0.67)		6 (1.00)			
咽頭結膜熱	10 (0.29)	3 (0.33)	2 (0.22)		5 (0.83)			
A群溶連菌咽頭炎	55 (1.62)	12 (1.33)	6 (0.67)	16 (2.29)	16 (2.67)		5 (2.50)	
感染性胃腸炎	174 (5.12)	40 (4.44)	55 (6.11)	30 (4.29)	43 (7.17)	4 (4.00)	2 (1.00)	
水痘	10 (0.29)	3 (0.33)	1 (0.11)	1 (0.14)	3 (0.50)	1 (1.00)	1 (0.50)	
手足口病	4 (0.12)		1 (0.11)	1 (0.14)	2 (0.33)			
伝染性紅斑	17 (0.50)	8 (0.89)	4 (0.44)	2 (0.29)	3 (0.50)			
突発性発しん	6 (0.18)			4 (0.57)	2 (0.33)			
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	2 (0.06)	1 (0.11)					1 (0.50)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.30)		1 (0.33)	1 (0.50)	1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	6 (1.00)		1 (0.50)		4 (4.00)		1 (1.00)	
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(中和1、郡山1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(奈良市1) 水痘1件(奈良市1)

❖ 第 8 週のトピックス ❖

新型コロナウイルスを防ぐには(2020年2月25日改正版) (厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000599643.pdf>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男			2	2	6	17	11	22	29	15	35	65	7	1	4	1	1	1	1	1	223	2620
	女			2	5	3	4	12	20	24	14	37	66	2	8	8	3	2	2	2	1	235	2509
RSウイルス感染症	男		2	1	1	2	1															7	69
	女	1	1	4	1	4	1															11	44
咽頭結膜熱	男			1	2	2			1				1									7	35
	女			1	1				1													3	28
A群溶連菌咽頭炎	男				1	2	4	5	2	3	2	1	4									24	230
	女			1	2	2	4	4	4	5	2	2	3		2							31	214
感染性胃腸炎	男	2	5	9	7	10	7	4	5	9		14	8	11								91	725
	女	2	4	11	9	5	5	5	2	5	4	5	6	1	19							83	645
水痘	男							1	1													2	30
	女							1	2	3	1		1									8	35
手足口病	男			1	1				1													4	21
	女										1												1
伝染性紅斑	男			2		2	2	1	1	1			1									10	98
	女				2	1	2	1							1							7	81
突発性発しん	男		2	3																		5	40
	女				1																	1	28
ヘルパンギーナ	男																						
流行性耳下腺炎	男						1				1											2	3
	女																						1
急性出血性結膜炎	男																						
	女																					1	8
流行性角結膜炎	男																					2	7
	女						1															1	8
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						
無菌性髄膜炎	男																						2
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男			2	3																	5	11
	女			1																		1	7
クラミジア肺炎	男																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						
	女																						4

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

